

# 陽だまり通信

**特集**

海外視察研修から学んだこと  
～カナダ・アメリカ～



## CONTENTS

**特集** 海外視察研修から学んだこと  
～カナダ・アメリカ～

改善事例発表会／入社式／「あまのっ子」のコーナー  
カーサミーア ケーキバイキング／施設情報／みなさまの声  
フラワーアレンジメント

<http://www.amano-reha.com>

# 特集 海外視察研修から学んだこと カナダ・アメリカ

リハビリ部

「副部長」川村美紀子  
「副主任」高原 奨

2014年3月9日、16日にかけて、天野理事長をはじめ、大塚部長、立花部長、リハビリ部の川村、高原の計5人で海外視察に行きました。視察では、カナダのオンタリオ州のトロント、ハミルトン、ナイアガラ、アメリカではオハ

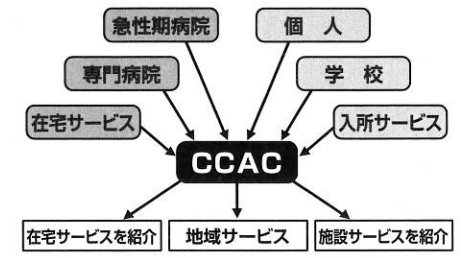
- |   |   |
|---|---|
| <p>1. Toronto Rehabilitation Institute (トロント大学提携病院)<br/>2. St. Peter's Hospital (リハビリテーション病院)<br/>3. Hotel Dieu Shaver Health and Rehabilitation Center (リハビリテーション病院)<br/>4. Douglass H. Repelje Lodge (ナースングホーム)<br/>5. Welland Community Wellness Complex (地域活動センター)<br/>6. Niagara Health System (急性期病院)</p> | <p>1. Grace Hospital HH and Rehabilitation at Lakewood Hospital (LTAC)<br/>2. Noon Edwin Shaw (リハビリテーション病院)<br/>3. Summa Care (リハビリテーション病院)<br/>4. Hands on Therapy (開業しているPT, OT)<br/>5. Metro Health Institute of Ohio (リハビリテーション病院)<br/>6. Global Center for Health Innovation (医療機器展示場)</p> |
|---|---|

視察施設一覧

イオ州のクリーブランドの病院や施設を計12か所見ることができました。

カナダは、雄大な自然に囲まれ世界で最も生活しやすい国の一つとして知られており、医療と教育は平等という理念を掲げている国です。医療制度では、日本と同じ国民皆保険制度をとっていますが、医療費が全て無料であることが大きな特色です。

また、今回視察したオンタリオ州では「Community Care Access Centre (以下CCAC)」というシステムが導入されていました。このシステムは、「ONE CALLシステム」とも呼ばれ、CCACに電話を一本かければ、医療・在宅サ



CCACの業務の流れ  
参考文献: 和田耕治他、カナダ東部地域の地域包括システムの現状と課題 国立社会保障人口研究所 海外社会保障研究 162号 No.162

ビスの調整をすべて行ってくれるというものです。CCACには専門スタッフが配置されており、利用者が適正かつ公平に必要な医療・在宅サービスを受けられるようアセスメントを行います。利用者にとっては便利であるとともに、安心して相談することのできる優れたシステムだと思いました。

カナダでは、大学提携病院やリハビリテーション病院、地域活動センターなど様々な施設を視察しました。訪問したリハビリテーション病院には、市から寄付された信号機、緑石、木工室、自動車などが設置されており、実生活に結びつくリハビリ



▲自動車の乗降訓練に使われていました  
▲本物の信号機が設置されていました



▲木工室 (完成品は売店で販売され、運営資金に充てられます)

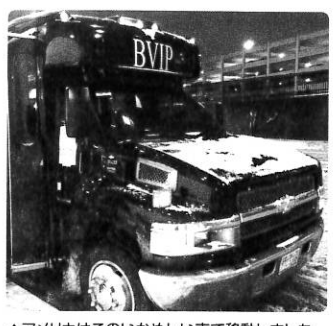
環境が整えられていることに感じました。また、ボランティア活動も盛んで、施設内には必ずと言ってよいほどボランティアの方々がおられました。年齢も十代から九十代までと幅広く、中には自分の経験や特技を生かして患者と一緒に創作活動をするなど、リハビリの専門スタッフとはまた違った立場での支援を



▲地元新聞社の取材を受ける天野理事長  
▲翌日の地元新聞に掲載されました

これを維持、発展させるために国民一人一人が自分の立場で何ができるかを真剣に考えている姿に感銘を受けました。後半はアメリカへの移動。しかしここでハプニングが起きました！飛行機が大雪のためすべてキャンセルとなってしまったのです。空港で待つこと16時間。疲労困憊の中、夜中の午前1時30分に無事アメリカへ着くことができました。アメリカでは、オハイオ州ク

リーブランドのリハビリテーション専門病院、長期急性期病院 (Long Term Acute Care: LTAC)、開業している理学療法士・作業療法士の診断所、医療機器展示場などを視察しました。

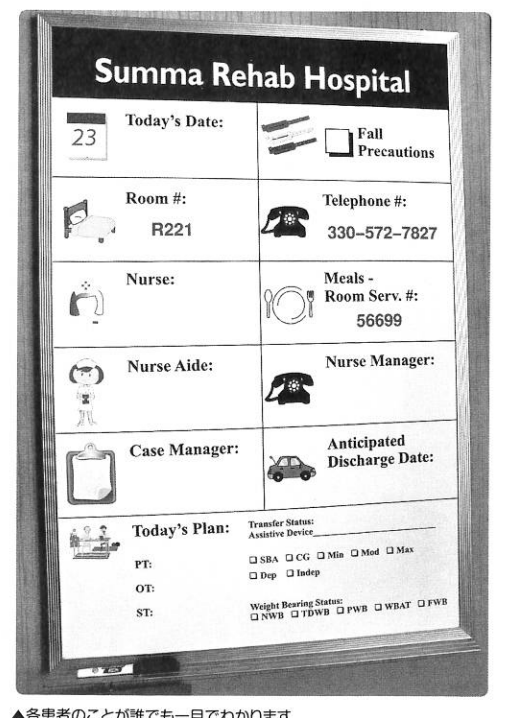


▲アメリカはこのいかに移動しました

アメリカの医療体制は、日本やカナダとは違っており、民間の保険会社を経由しなければ医療機関で受診できないことや医療費が全額自己負担であること、在院日数が短いことなどが特徴です。

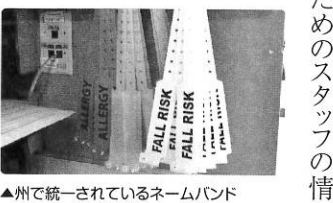
病棟は疾患別に分かれ、それぞれ特性に応じたケアが提供されていました。特にLTAC施設では、日本にはない呼吸セラピストやモニター監視専任の看護師が配置され、より専門性の高いきめ細やかな体制づくりが行われていました。また日本ではベッド数に応じて規定の数の看護師を配置しなければなりません。アメリカでは患者数によって看護師数を調整でき、施設ではなく、患者に合わせた合理的な人員配置が可能となりました。

またリスク管理における創意工夫にも驚きました。各患者のベッド傍にはボードが設置されており、その日の患者の様子や担当看護師、リ



▲各患者のことが誰でも一目でわかります

ハビリ時間、施設によってはリハビリの目標が記載されていました。このボードがあると、いつ誰でも患者の様子が一目でわかります。この他、入院時に腕につけるネームバンドが州で統一されており、転院してもすぐに名前や転倒リスク、アレルギーなどがわかるようになっていきます。患者を守るためのスタッフの情報共有のあり方を考えさせられ、大いに参考にになりました。



▲州で統一されているネームバンド

最後に。日本とカナダ、アメリカとは、文化や歴史、そして医療体制も違います。しかし、医療従事者の熱意や患者のために成果を出したいという思いは、どの国も同じであると実感しました。それと同時に、私たちのリハビリテーションの技術はアメリカ、カナダに決して負けてはいないという自信を持ちました。もちろん、その自信で満足するのではなく、これからは患者のためにより質の高いリハビリテーションを提供することができるよう、精一杯がんばりたいと思います。

# 「改善事例発表会」開催

私たちは、業務改善、効率化、サービス向上の為、毎年、業務改善事例発表会を行っています。今回は平成26年2月21日に開催された発表会の発表事例のタイトルを紹介いたします。

## ■統一したケアの方法に向けての取り組み

アマンリハビリテーション病院  
○江上 毅・吉良 晶子・山岡 君江  
矢野 隆文・高野 範子  
菅 一・広瀬 とし子



## ■療養病棟入院患者・家族の退院に向けての現状分析

アマンリハビリテーション病院  
3階東病棟



○西原 京香・脇長さおり・村上 美香  
加藤 美保・湯浅 良子・左利 龍弥  
馬場 律子

## ■当院における退院後の運動の習慣化に向けた取り組み

アマンリハビリテーション病院  
リハビリテーション部回復期1課  
○新元 敬大・泉 貴幸・藤田 祥子  
寺田 千秀



## ■放課後等デイサービスの取り組み

アマンリハビリテーション病院  
児童発達支援教室おひさま  
○浪花 里依  
瀬戸 香菜美  
東風 早弥佳  
三上 みゆき  
川村 美紀子



## ■後発医薬品導入による薬剤費圧縮効果

アマンリハビリテーション病院  
薬剤課

○濱田 司・三浦 友子・多田 彩子  
田村 洋平・加川 芳郎



## ■在宅K式スケールの導入

ハートフルステーションあまの  
○村中 郁恵  
東田 亜由美



## ■重度認知症医療デイケアでの夏祭りを通して

あまのクリニック  
重度認知症医療デイケア  
○高原 奨  
財津 佳奈  
小瀬 佳央里  
國守 彩  
高橋 和美  
濱本 一美  
井上 智雄



## ■ご入居者さまに喜んでいただける食事をめざして

介護付有料老人ホーム 望海の里  
○富田 理子・中村 浩美  
栄養課



木々の緑が鮮やかな季節、散歩にはもってこいの季節となりました。タンポポ摘み、ダンゴムシ見つけなど、自然の中で楽しく遊びました。



# あまのっ子「のこり」

あまの保育園 思い出フォトアルバム「初夏」

## 散歩



子ども達は外遊びが大好き。今日はどこへお散歩行こうかな？

## 遠足



速谷神社に行きました。みんなで「ヨーイドン」やっぱり自然の中は気持ちいい♪

## 英語で遊ぼう



週一回、マイク先生と英語遊び。りんごは？「アップル〜！」発音もなかなかかーです。

## 端午の節句



元気にスクスク、大きく育ってね。健やかな成長を願って、みんなで記念撮影。

# 祝!! 入社式

今年も当法人に新たに20名の仲間が加わることになり、4月に入社式が挙行されました。



ちで見守っていました。これからは、新たな発想のできる若い人たちの力が不可欠です。新人職員が存分に力を発揮できるように職場環境の中で、先輩職員と力を合わせて地域医療・福祉に貢献してくれることを期待しています。

式は緊張した空気の中スタートしましたが、法人の各部署紹介等では、ユニークな紹介を行う部署もあり、時には笑い声も聞こえて、徐々にその空気も和んでいきました。新たに仲間に加わった職員たちは、みな希望に満ちた表情をしており、同席した各所属長も新鮮な気持ち



# カーサミニアでケーキバイキングを行いました

5月16日の午後、ご入居者やそのご家族、地域の方、廿日市市の職員の方などをお招きして、ケーキバイキングを行いました。

参加された皆様には、ピアノ演奏が流れる中、素敵にコーディネートされたテーブルについて10種のスイーツを自由に取っていただき、目で見て楽しみ、音楽の調べに耳を傾け、舌で味わい、笑顔いっぱいの時間を過ごしていただけたと思います。



# 施設情報

医療法人ハートフルのさまざまな施設で行われた催しをご紹介します。

## アマンリハビリテーション病院

「ISOサーベイランス審査を受けて」

平成26年5月12日～5月15日にかけてISO9001(品質管理)とISO14001(環境管理)の第4回サーベイランス審査を受けました。

サーベイランスとは認証登録されたISOシステムが基準どおりに運用されているか、さらにはシステムが有効に働いているかについて外部機関が評価するものです。

ISOシステムを活用するにあたり管理責任者が、チェック機能を働かせて未解決の懸案について声掛けをさせていただきました。そのような皆さんの協力により審査の日を迎えることが出来ました。今回で4回目となりましたが、まだまだ改善事項は多く、より良い体制づくりのためスタッフ一同、力を合わせて取り組んでいこうと思います。これからPDCAサイクルを活用し、質の向上を目指してがんばっていきましょうので、よろしくお祈りいたします。

## あまのクリニック

「音楽会始めました。」

平成26年4月から重度認知症患者アケアにて、毎週月土の13時30分～14時で音楽会を始めました。(小グループで、7名程度)

【目的】

- ①音楽が好きで、楽しみとしていられる方に、音楽と触れる機会を提供する。
- ②焦燥感や不安感のある方に、安心して落ち着いて過ごすことができる時間を提供する。
- ③小グループで実施し、他者とのコミュニケーションを図る機会を提供する。

【音楽会の様子】

自己紹介から始まり、和やかな雰囲気です。

歌にまつわる思い出話をしたり、他者の思い出話を傾けられたり、普段とは違う利用者の方の一面を見ることができました。

i padを使用して音楽会を行っていますが、歌手の名前や顔を皆さん興味津々で見られていました。

今後も音楽会を続け、利用者の方々に楽しんでいただくとともに、個々の状態を把握し、関わり方を検討していきます。



## 「書道教室」

あまのクリニック通所リハビリテーションでは月2回、書道の先生をお迎えし書道教室を行っています。ご自身で考えた句や文字などを練習され、作品はデイルーム内に展示させていただいています。これからも、楽しく活動に参加していただき、職員一同取り組んでまいります。

「外出活動でアルパークへ行ってきました」

## 「ハートフルあまの」

地域活動支援センターの特別活動としてアルパークへ行ってきました。アルパークへ着くと早速ランチタイム。事前にパンフレットで店を見し、みんなで決めたオムライス専門店で昼食をとりました。とても美味しく、あつと



いう間の完食でした。

その後は、この日のメインである買い物です。利用者様全員女性ということもあり、いろいろな店を見てまわり2時間設定してあった買い物時間もすぐに過ぎ去ってしまいました。

外出活動は、利用者様や保護者の皆様からの希望の高い活動です。年に1回の外出活動は普段とは違った利用者様の表情、感情表現が見られる重要な活動と考えられるので、今後も継続していきたいと思えます。

## 「桜」



さくら咲く4月、ゆうゆうあまのでは、数名の利用者様とお花見に出かけました。新宮公園や五日市の造幣局など、今年のさくらもとてもきれいでした。皆さん、さくらを見ると「きれいだね」

# みなわまの声

①3階東に入院していた者の家族でございます。親は亡くなりました。お世話になりました。入院期間中に気が付いたのですが、看護師さんもお忙しいと思いますが、ちらっと患者さんの悪口を耳にしてみました。親は亡くなりましたが、入院中、大丈夫だったのかと心配になりました。毎日、様子を見にすれば良かったと後悔しています。

「ご意見ありがとうございます。医療に携わる者として、とても恥じる行為だと思えます。大変申し訳ありませんでした。スタッフ一人ひとりに患者・家族の皆様の立場に立つて行動できるように働きかけてまいります。」



②4～5年前に入院した時より、スタッフの皆さんの質が向上されているのにビックリです。本当に良くなってくださいました。ありがとうございます。掃除も行き届き、気持ちよく過ごせる事ができました。皆様には感謝します。

「丁寧にご意見をいただきありがとうございます。皆様からの率直なご意見がスタッフ一同にとりましては、大切な評価と思っております。このご意見を励みに皆様のご希望に添えられるようさらに精進してまいります。」



③食事の献立、毎日楽しみに見えています。しかし、週の中に同じメニューが多い感じがあります。様々なメニューを楽しみたいと思



ますので、ばらつきを持たせていただきたいと思います。

お食事を楽しみにしていたので、ありがとうございます。献立ですが、なるべく同じ献立が続かないようにしているのですが、希にそのようなことがあるようです。申し訳ありません。これからは、より献立を楽しみにしていただけるように新メニューを加え、引き締めたいと思えます。貴重なご意見をありがとうございます。

④西棟で入院したばかりで歩けもしないのに、いきなり歩けと命令され、きつく言われ涙がでました。食堂への道中、助けを求めても帰れどきつくしかられ、死ぬ

思いで、脂汗が出て毎日が苦痛でした。東棟にかわってスタッフの皆さんは非常にやさしくて、心身共に元気が出てきました。

「ご意見ありがとうございます。病棟のスタッフの対応に苦痛と不快を感じられた事は、大変申し訳なく思っております。患者さんに適したケアが必要だと思います。また、そのケアが必要ならば説明をし、ご理解していただいた上で行ってまいります。」



と自然に笑顔になられ、お話が弾みいきいきとしておられました。おみやげに、さくらの花びらを持って帰ってくださる方もいました。そのやさしさもうれしく、さつき押し花にしました。

「食中毒予防研修」

広島県が食中毒警報を発令する前の5月23日、栄養部指導により、食中毒予防対策の研修を行いました。

例年この時期には、同様の研修を行い、食中毒の未然防止に努めています。今年も少し内容を工夫し、食材の取り扱い方、調理方法、保存方法について、O×クイズ形式を取り入れてみました。

食中毒予防は、施設介護サービスマンにも直接役立つこともあつてか、研修を受ける職員も積極的に、かつ楽しく、知識を習得することができたと思っております。



⑤リハビリで色々な事を学び参考になりました。まず、トイレ、風呂の手すり棒をつけて動きやすくしたいと思います。インシュリンを打たないで、薬で治療できるよう回復を待っています。入れ歯の調整をしていただきありがとうございました。

「こちらこそ、お言葉がけ、ありがとうございます。地域生活が生き生きと過ごせますようこれからも共に歩んでまいります。」



# フラワーアレンジメント



西弘 花純作

講師 木村 里美

梅雨に入り雨の日も多くなつてまいりましたが、色とりどりの紫陽花が雨にうたれ暑さを忘れさせてくれます。

さて、6月のレッスンは、ご要望にお応えし、「寄せ植え」を行いました。鉢は、それぞれご用意いただきました。

今回のレッスンの方は、かわいい取手のついたベージュの鉢です。セレクトされた花苗は、ラベンダー、ペチュニア、イベリス、ロータスクレティクス、コリウスの、5種類です。どれも夏を代表する、寄せ植えに適した花たちばかりです。

寄せ植えは、アレンジレッスンより易しいイメージですが、色や苗の合わせ方、花の向きなどで随分とイメージが変わります。今回は、大きくなるペチュニアをあえて後ろに置き、薄紫のイベリスを前に持って来られました。ラベンダーの紫と対角線で並んでいます、グッとシックなコリウスで引き締め、明るいライムグリーンのロータスクレティクスを間に入れ、お互いの植物をグンと引き立てています。

紫と白を基調にとっても涼しげな組合せで、清楚な作品が出来ました。これから、日に日に成長が見られ、植物からは、良いエネルギーがもらえます。

ペチュニアなどの枯れた花殻は、小まめに取り、夏の季節をぜひ楽しんでください。

天野 純子…内科・リハビリテーション科 福田 裕恭…内科・心療内科 川上 恭司…循環器科 中島 康…内科・循環器科  
 山根 浩介…内科・放射線科 木村 浩彰…リハビリテーション科 松下 宏子…内科・循環器科 奥田 由香…皮膚科  
 河村理英子…小児科 西山奈緒子…内科・リハビリテーション科 櫻津 優…心療内科 柏木紀代子…心療内科

## アマノリハビリテーション病院

2014年7月現在

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ~12時	内科	中島 康 内科・循環器科	天野 純子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	松下 宏子 内科・循環器科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	心療内科・神経科	—	—	—	—	柏木 紀代子 心療内科	—
午後		休診					

## あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ~13時	内科	山根 浩介 内科・放射線科	—	—	天野 純子 内科・リハビリ	—	—
	心療内科・神経科	櫻津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	—
午後 2時 ~5時	内科	—	中島 康 内科・循環器科	—	—	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。



医療法人ハートフルは、みなさまへのよりよい情報提供に努めています。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

## アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科

診療時間 午前9時~12時

休診日 日曜・祝日



## あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

診療科目 内科・循環器科・心療内科・リハビリテーション科

診療時間 午前9時~13時(受付は12時まで) 午後2時~5時

休診日 水曜・金曜(午後)・土曜(午前)・日曜・祝日

通所リハビリテーション ■ 重度認知症患者デイケア

### ■ 高齢者サービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1620  
電話対応可能時間 月曜~土曜可能  
午前8時30分~午後5時30分

### ■ 広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F  
TEL.0829-34-4717 FAX.0829-34-4718  
電話対応可能時間 月曜~金曜  
午前9時30分~午後5時

### ■ 地域ケア推進部

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内4F  
TEL.0829-31-5226

### ■ 地域活動支援センター ハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1624  
電話対応可能時間 月曜~金曜  
午前8時30分~午後5時30分

### ■ 相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内4F  
TEL.0829-34-4710  
電話対応可能時間 月曜~金曜  
午前8時30分~午後5時30分

### ■ 訪問看護ステーションハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212  
電話対応可能時間 月曜~土曜 午前8時30分~午後5時30分

### ■ 介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

### ■ 介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

### ■ 発達支援教室おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166  
電話対応可能時間 日・祝日・水曜日除く 午前8時30分~午後6時

### ■ アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213  
電話対応可能時間 月曜~土曜 午前8時30分~午後5時30分